

## 令和4年度医学部定員の増員について

## 1. 経緯

- 本県では、県内の医師確保を目的に、山梨大学、北里大学、東京医科大学と連携して医学部定員の増員を行い、県内への一定期間の就業を要件とした地域枠としている。

※ 増員分は地域枠としなければいけない。

|        |           |       |       |
|--------|-----------|-------|-------|
| 山梨大学   | H 2 0 年度～ | 1 0 名 | 2 0 名 |
|        | H 2 1 年度～ | 5 名   |       |
|        | H 2 2 年度～ | 5 名   |       |
| 北里大学   | H 2 2 年度～ | 2 名   |       |
| 東京医科大学 | H 2 6 年度～ | 2 名   |       |

- 厚生労働省及び文部科学省（国）では、令和4年度における医学部定員の増員について、継続して増員を希望する大学から申請を受け付け、増員の可否について検討を進めているところである。

※ 本県に關係する3大学とも増員の申請を行っている。

- 医学部定員の増員は、地域の医師確保を目的に臨時的に認められていることから、増員を希望する場合は、各都道府県の地域医療対策協議会において、増員の継続について了承が得られていることを国は求めている。

## 2. 本県の状況

県内の医療施設に従事する医師数は増加傾向にあるが、人口10万人対で239.2人と全国平均の246.7人に及ばない状況にある。

また、医療圏別で見ると、大病院が集中する中北医療圏以外は全国平均を大きく下回り、医師の地域偏在が生じている。

この地域偏在を是正するためには、地域枠として医師を確保し、キャリア形成プログラムの運用の中で派遣調整を行い、医師不足地域の医師を増やして行く必要がある。



## 3. 本県の対応（案）

令和4年度における山梨大学（20名）、北里大学（2名）、東京医科大学（2名）の臨時増員の継続について、地域医療対策協議会として了承し、その旨を国に報告することとしたい。